

【説明内容】

◆モーターコアについて

2023年度中期経営計画の自動車の電動化、次世代基幹事業の創出として、今回はモーターコアを紹介する。

モーターコアとは、全ての電動車に使用される。電磁鋼板の薄板を積層した部品であり、今後の基幹部品として育てようと考えている。電磁鋼板は非常に硬く加工しにくい特殊な鋼板である。厚さは0.25mmから0.30mm、直径が150mmから250mmであり、これを高速プレスで打ち抜く。次工程では打ち抜いた薄板を200枚から300枚を転積する。転積とはプレスで打ち抜いた薄板の重なり方向を変えながら積層することであり、電磁鋼板の異方性（厚み、磁気特性）をキャンセルさせる難しい工程の一つである。転積後は固定するためにカシメや溶接をする。数百枚の薄板を積層しながらも真円度や同心度は20~30 μ という非常に高い精度が必要となる為、検査工程やその後の梱包や輸送に対しても技術を要する部品である。

当社のモーターコアは10年以上前から電動車に搭載されている。昨今の電動車普及に伴い市場が大きくなっている中で、当社への受注も増えてきている。

当社の強みの一つ目は、生産効率の高い高速プレス技術である。以前より保有していたばね鋼の硬い鋼板を高速で打ち抜くという技術を応用している。二つ目は、グローバルな供給体制であり、既に日本、中国、メキシコに工場を有している。三つ目は、自社で金型の作製やメンテナンスが出来ることで、金型に色々な工夫することが出来る。四つ目は、自動車部品メーカーとしての信頼と実績や展開力である。

今後の受注増への対応としては、中国、メキシコにおいては、生産設備を導入することにより対応可能であるが、現在の厚木工場は生産スペースが不足している為、2021年度の用地取得を起点に、2022年度には増築、2023年度秋には新生産棟を当初の計画より前倒して建設し、2024年度には生産能力を2021年度比で約3倍に上げる予定である。

2030年にはグローバルでの電動車市場が2020年の8倍になることを想定し、当社の売上計画は10倍の300億円超を目指している。電動化の流れは年々加速する傾向にあるため、生産能力アップと受注拡大を急ぐ必要がある。電動化によりエンジンやトランスミッション回りの部品の売上は減少する可能性があるが、それらの売上を超える製品にしてい

以上